



A S K

圧力計切換バルブ

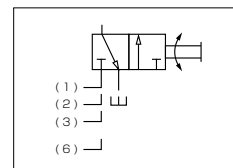
SV

油圧装置の大幅コストダウンに

圧力計切換バルブは1個の圧力計で最大1~6ヶ所の回路圧力を測定できます。圧力計使用個数が1個で済むため、圧力計及びパネル取り付け穴加工などが大幅に削減され、油圧装置の大幅なコストダウンが可能です。



JIS油圧図記号



特長

- 圧力バランス形のロータリー式切換バルブのため、ハンドル矢印を回路番号に合わせるだけで、容易に回路圧力の測定が可能です。
- 圧力計には測定時のみ加压されALL CLOSEにすれば、圧力計内残圧がドレンポートへ排出されて、圧力計は常時“O”位置を指示するため、圧力計の精度、耐久性が向上します。

型式説明

□ - SV - 318

1 2 3 4

1 適用流体

無記号：一般石油系作動油
F：りん酸エステル系作動油

2 機種

圧力計切換バルブ

3 ポート数

3：3ポート
6：6ポート

4 接続ねじ口径

18：Rc1/8
14：Rc1/4

仕様

| 形式 | 接続ねじ口径 | 最高使用圧力 | 耐圧 | 測定ポート数 | 取付方法 | 質量 |
|--------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
| SV-318 | Rc1/8 | 21MPa | 38MPa | 3ポート | パネル取付形 | 1400g |
| SV-314 | Rc1/4 | | | 6ポート | | |
| SV-618 | Rc1/8 | 6ポート | | | | |
| SV-614 | Rc1/4 | | | | | |

■ ドレンポートからの漏れ量 (SV切換バルブ共通)

設定条件 作動油:ISO VG32 7 MPa:20cm³/min以下
油温:45±5℃ 14MPa:30cm³/min以下
21MPa:40cm³/min以下

■ ドレンポートからの許容背圧力

許容圧力:1.5MPa以下

使用上の注意

- 切換バルブの各ポートに配管する場合は、対照的なポート位置に同圧力がかかるように接続してください。
- このバルブのシール構造は、スプール外径と本体内径がクリアランス10μ程度のメタルシール方式で構成されています。ゴミなどが付着すると、ハンドルが重くなったり、動かなくなることがありますので、作動油の汚れにご注意ください。
- 配管のフラッシングの際には、汚れたフラッシング油がバルブに流れないようにしてください。
- 定期的なハンドル切換操作を実施してください。
- ドレン配管は、一度バルブ本体より高い位置に上げてからドレンポートに配管してください。ハイドロロック現象が起きにくくなります。
- ドレンポートに内圧が保持されるとバルブハンドルが重くなり、廻らなくなります。ドレンポートは必ずドレン配管に接続し、許容背圧以下でご使用ください。

外形寸法図

